

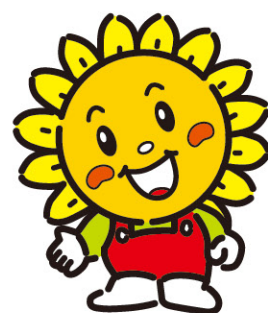
JA Himawari Information 2024



農業と食を通じた“元気”づくり



ひと・夢 いいね。
 **JAひまわり**



すべては 組合員とともに

こんにちは

皆さんは、JAひまわり、豊川市、豊川市の農家が栽培した農畜産物が好きですか？

JAひまわりは、自然と街の調和がとれた豊川市を管内とする農業協同組合です。私たちは、「協同の原点に立ち返り 農業とそこに住む人々のかけ橋になる」を役職員の行動理念として、地域の皆さんと共に様々な事業や活動を通じて農業とくらしを支え、この地域の幸せづくりを目指しています。そのためには、多くの仲間が必要です。一緒に活動する組合員（仲間）になって、地元農畜産物をいっぱい食べ、地元の花をいっぱい飾って、この地域の農業とくらしを豊かにしませんか。

“ひまわり”のように明るく未来に向かって進みたいの思いを持って私たちは、豊川市内を飛び回っています。シンボルマークや“まりくん”を見かけたら、気軽に声をかけてください。

この冊子を手にし、“ひまわり”の仲間になっていただくことを心よりお待ちしております。

代表理事組合長
今泉 秀哉



組織概要

令和6年3月31日時点

名 称	ひまわり農業協同組合
代 表 者 名	今泉 秀哉
本店所在地	愛知県豊川市諏訪1丁目1番地
電 話 番 号	0533-85-3171(代表)
設 立	平成2年4月
組 合 員 数	35,923名(正組合員7,048名・准組合員28,875名)
出 資 金	1,388,644,000円
役 員 数	33名 理事 25名(うち常勤4名) 監事 8名(うち常勤1名)
職 員 数	484名(常勤嘱託・出向者含む)
職員平均年齢	40歳5カ月(平均勤続年数 17年1カ月)
施 設 数	豊川市内に53事業所



一人はみんなのために
みんなは一人のために
それが協同組合

JAってなに？

JAとは、相互扶助の精神のもとに組合員が連携して助け合うことで、農業と生活を守り、よりよい社会を築くことを目的に組織された協同組合です。

この目的のために、JAは農業資金や生活資金の貸し付けや、農業生産に必要な共同利用施設の設置、あるいは万一の場合に備える共済などの事業や活動を行っています。

JAという名前は、「農業協同組合」の英語表記（Japan Agricultural Co-operatives）の頭文字からつけられたニックネームです。



Japan Agricultural Co-operatives

ロゴマークは「大地と人と人のきずな」をイメージしたものです。

組合員ってなに？

JAは農業者とJAの事業を利用する人が出資して組合員となり、運営する組織です。人々が連帯して助け合う「相互扶助」の精神のもとに地域の農業やそこで暮らす人々の生活を守り、よりよい社会を築くことを目的としています。

組合員には「正組合員」と「准組合員」があります。農業者である「正組合員」は総代会での議決権や役員の選挙権などJAの運営に参画することができます。農業者以外の方は「准組合員」としてJAの各事業を利用していただけます。また、当JAでは准組合員を「地域農業の応援団」と位置づけ、グリーンセンターなどで農畜産物を購入していただくことを通じて、地域の農業と組合運営を支えていただいています。

組合員になるためには

原則としてJAひまわりのエリア（豊川市内）に居住し、地域農業の振興を応援し、JAひまわりの事業や施設などを継続して利用いただける方が対象となります。組合員になるには出資（10口：10,000円）が必要となります。

加入資格

正組合員

- ・ 10アール以上の農地を耕作している方
- ・ 年間90日以上農業に従事している方

准組合員

- ・ 組合員として地域の農業振興を応援し、組合事業をご利用いただける方
- ・ 豊川市外に居住している方については、勤務地が豊川市内にあり、組合の事業を1年以上継続利用していて、今後も引き続きご利用いただける方



JAひまわり シンボルマーク

「JAひまわり」の名称は組合員、利用者から募集。『ひまわりのように太陽（未来）に向かって、明るく大きく伸び、みなさまに愛され、広く知られるように』との理由から決定されました。

また、シンボルマークは、JAひまわりのイメージコンセプト（明るさ）〈親しみ〉〈拡がり〉をもとに、組合員、利用者による投票により選定されました。



イメージキャラクター

まりくん

JAひまわりのイメージキャラクター「まりくん」は、JAひまわりと組合員、利用者、JAひまわりを取り巻くすべての人々をつなぐメッセンジャーとして活躍しています。

JAひまわりの事業紹介

～数字で見るJAひまわり～

JA Himawari Business Introduction
- JA Himawari in numbers -

JAひまわりは様々な事業やサービスの提供を通じて、組合員や地域のみなさまの「営農」と「くらし」を支えます。

販売事業

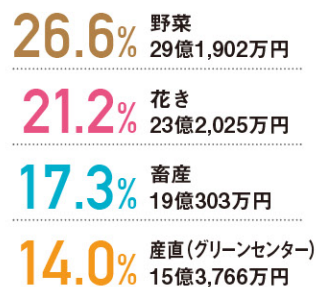
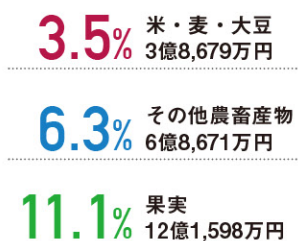
Sales business

JAひまわりは、豊川市の温暖な気候を活かして生産される多種多様な農畜産物を全国各地へ販売しています。特に花きやトマト、大葉などの施設園芸品目の生産が盛んで、販売額の多くを占めていることが特徴です。

当JAには農業者の生産活動を支援するための営農指導機能があり、生産された農畜産物の多くはその品質が評価され、全国的にもトップブランドとして認識されています。

当地域で生産された農畜産物は、グリーンセンターやAコープ、産直ひろばにてお買い求めいただけます。

販売品販売総取扱高
109億6,947万円



(販売品目の詳細はP08～P09に記載)

豊富なラインナップ

From Toyokawa





購買事業

Purchasing business

購買品供給総取扱高
48億5,596万円

(経営移管事業を除く)

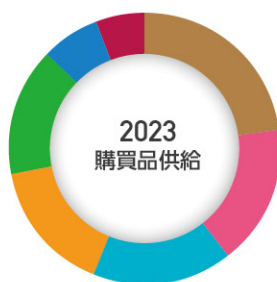
J A ひまわりでは、農業生産活動に必要な肥料や農薬、飼料、農業用機械などを計画的にまとめて購入し、農業者が安心して購入できる価格で供給しています。

このほか、LPガスなどの燃料事業、くらしを支える介護福祉事業、土地などの大切な資産を守り活用するための資産管理事業、大切な家族を見送るための葬祭事業など、多くの事業を通じて組合員や地域のみなさまのくらしをサポートしています。

5.7% 農機具
2億7,841万円

7.0% 葬祭・資産管理・その他
3億3,881万円

15.1% 肥料・農薬
7億3,168万円



22.9% 燃料・LPガス
11億1,106万円

16.7% 園芸・種苗・施設資材
8億1,294万円

16.7% グリーンセンター
8億1,286万円

15.9% 飼料・畜産
7億7,016万円



信用事業

Credit business

J Aひまわりは全国のJ AやJ A愛知信連、農林中央金庫などの組織によって構成される「J Aバンク」と一体的な事業運営を行い、各種金融サービスを提供しています。

組合員や利用者から預かった貯金を原資として、資金を必要とする方への貸し出しや運用を行い、地域の金融機関としての役割を果たしています。

貯金・定期積金残高 | JAひまわり金融店舗 (11本支店)

3,342億8,437万円

1.5%

定期積金
49億7,237万円



60.4%

定期貯金
2,019億9,167万円

38.1%

当座性貯金
1,273億2,032万円



貸出金残高

661億9,439万円

1.6%

貯金・共済担保
10億6,877万円

1.9%

その他資金
12億7,539万円



62.6%

住宅資金
414億2,745万円

29.1%

アパート資金
192億1,972万円

2.8%

農業資金
18億6,799万円

2.0%

マイカーローン、教育資金等
13億3,504万円

共済事業

Mutual aid business

J Aひまわりでは相互扶助の理念に基づき、全国のJ AやJ A共済連などの会員組織によって構成される「J A共済」と一体的な事業運営を行い、組合員や利用者の皆さまの生活を取り巻く様々なリスクに備える「ひと、いえ、くるまの総合保障」を提供しています。

長期共済保有高 | 契約件数 69,960件

6,121億8,071万円

0.1%

年金(定期特約)
8億9,500万円

契約件数 12,047件

32.4%

生命総合共済
1,983億3,743万円

契約件数 34,288件



67.5%

建物更生共済
4,129億4,827万円

契約件数 23,625件

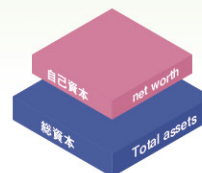
自己資本比率

Capital adequacy ratio

当J Aの自己資本額は251億円、自己資本比率は18.58%です。国内金融機関の基準4%、J Aグループの自主ルール基準8%を上回り、安定した経営が維持できています。

18.58%

(令和6年3月31日時点)



採れたてを毎日届ける “JAの直売所”

Deliver freshly picked daily
"JA direct sales office"



▲グリーンセンター豊川

直売所

「新鮮で安全・安心」をコンセプトに豊川市内で生産される農畜産物を中心に販売しています。地元で丹精込めて栽培された農産物には生産者名を記載して販売しています。商品に生産者名を記載して販売することで安全・安心を保証しています。

グリーンセンター豊川

豊川市馬場町上石畑65番地



グリーンセンター一宮

豊川市東上町松本227番地



グリーンセンター音羽

豊川市赤坂町大日6番地



産直ひろば御津

豊川市御津町西方松本67番地



産直ひろば小坂井

(Aコープ小坂井店内)

豊川市小坂井町門並18番地



JAひまわりブランドを全国へ 多品目産地豊川 農畜産物紹介

Introduction of agricultural and livestock products in Toyokawa,
a multi-product production area

令和6年4月1日現在

とまと

項目	2023年度実績
生産者数	85名
栽培面積	約24ha
販売数量	約52万ケース
販売金額	約8.9億円
出荷期間	9月下旬～7月下旬



ミニトマト

項目	2023年度実績
生産者数	45名
栽培面積	約12ha
販売数量	約537万パック
販売金額	約7.7億円
出荷期間	8月下旬～7月初旬



いちご

項目	2023年度実績
生産者数	96名
栽培面積	約16ha
販売数量	約244万パック
販売金額	約8.6億円
出荷期間	10月下旬～6月下旬



いちじく

項目	2023年度実績
生産者数	48名
栽培面積	約7.5ha
販売数量	約47万パック
販売金額	約2.2億円
出荷期間	ハウス4月中旬～8月下旬 露地8月上旬～11月上旬



つまもの

項目	2023年度実績
生産者数	18名
栽培面積	約8.2ha
販売数量	約377万パック
販売金額	約11億円
出荷期間	年間を通して



アスパラガス

項目	2023年度実績
生産者数	35名
栽培面積	約5.2ha
販売数量	約90万束
販売金額	約1.1億円
出荷期間	2月～10月



スプレーマム

項目	2023年度実績
生産者数	51名
栽培面積	約35ha
販売数量	約14万ケース
販売金額	約9.6億円
出荷期間	年間を通して



バラ

項目	2023年度実績
生産者数	33名
栽培面積	約15ha
販売数量	約35万ケース
販売金額	約12億円
出荷期間	年間を通して



産直出荷物

項目	2023年度実績
生産者数	1,224名
栽培面積	—
販売数量	約833万点
販売金額	約14億円
出荷期間	—



水稲

項目	2023年度実績
生産者数	22名
栽培面積	約888ha
販売数量	約1,380t
販売金額	約2.8億円
出荷期間	—



J A ひまわりの管内にある豊川市は1年を通して温暖で適量の降雨もあるという気候条件にも恵まれ、農業に適した地域です。そのため、全域にわたり多様な農畜産物が生産され愛知県下3位の農業産出額を誇る東三河の中核的農業地帯となっています。J A ひまわりの管内で生産されるこだわりの農畜産物を紹介します。



「とよかわブランド」
豊川市の優れた地域資源を「とよかわブランド」として認定し、広く豊川市そのものの価値を高め、産業振興、観光推進と地域活性化を図ることを目的とするものです。

露地野菜

項目	2023年度実績
生産者数	177名
栽培面積	—
販売数量	—
販売金額	約2.6億円
出荷期間	—



アールスメロン

項目	2023年度実績
生産者数	24名
栽培面積	約5.5ha
販売数量	約14万玉
販売金額	約1.6億円
出荷期間	年間を通して



果樹 (かき、みかん、キウイ、なし、ぶどう)

項目	2023年度実績
生産者数	71名
栽培面積	約25ha
販売数量	約199t
販売金額	約0.7億円
出荷期間	—



洋花

項目	2023年度実績
生産者数	16名
栽培面積	約4.0ha
販売数量	約3.2ケース
販売金額	約1.3億円
出荷期間	年間を通して



菊

項目	2023年度実績
生産者数	22名
栽培面積	約5.5ha
販売数量	約1.5万ケース
販売金額	約1.1億円
出荷期間	年間を通して



鶏卵

項目	2023年度実績
生産者数	7名
飼養頭数	約16万羽
販売数量	約2.0t
販売金額	約4.8億円
出荷期間	年間を通して



肉豚

項目	2023年度実績
生産者数	8名
飼養頭数	約1.0千頭
販売数量	約1.3万頭
販売金額	約5.3億円
出荷期間	年間を通して



酪農

項目	2023年度実績
生産者数	5名
飼養頭数	約450頭
販売数量	約4.9t
販売金額	約5.5億円
出荷期間	年間を通して



肉牛・子牛

項目	2023年度実績
生産者数	3名
飼養頭数	約1,450頭
販売数量	約269頭
販売金額	約1.3億円
出荷期間	年間を通して



ゆとり・ふれあいのある 住みよい地域社会づくり

Creating a comfortable community

女性部

JAひまわり女性部は、JAをよりどころとして生きがい、暮らし、趣味、健康、食、農業などに関心のある女性が集まり、活動する組織です。多様な活動を通じて、仲間づくりや女性の夢や願いを実現することを目指しています。

また、食農教育活動を通じた住みよい地域社会づくりにも貢献しています。



JAで見つかる生きがいづくり

Creating a purpose of life found in JA

年金友の会

JAバンクで年金受取口座を開設すると入会いただける年金友の会。JAひまわりでは、15,000名以上の方が会員となっています。会員の方は、金利優遇が受けられる「年金定期貯金」「ゆうゆう定積」のご契約や旅行、グラウンドゴルフ大会などのイベントへの参加、誕生日プレゼントなどの特典が受けられます。



豊かな地域コミュニティづくりと 未来を担う子供たちへの活動

Creating a prosperous local community and
activities for children who will lead the future

J A ひまわりは、各種イベントやスポーツ振興を通じて地域間の交流や仲間づくりの場を提供しています。未来を担う子供たちに対して、食育・花育活動を通じて食の大切さや地域の農業について学ぶ機会を提供しています。

また、地域の方々のくらしを支えるための介護福祉事業などを通じて、あらゆる世代の方々が安心して暮らせる豊かな地域コミュニティづくりを目指しています。



JA ひまわり理念

存在理念

くらしをみつめる

組合員や地域の人々とのつながりを大切に
生涯を通じた快適な暮らしを支援する。

基本思想

経営理念

組合員の営農と生活に対して 『最大奉仕』を目指す

事業展開の過程およびその結果において
経済的・文化的・精神的豊かさを創造する。

行動理念

協同の原点に立ち返り 農業とそこに住む人々のかけ橋になる

役職員一人ひとりが“誰のために何のために”
事業活動を行っているかを考え、自己の役割に
責任を持ち、積極的に業務遂行する。

基本
コンセプト

2018年度～2026年度

JA ひまわり 長期基本構想

農業や食にかかわる多様な事業や活動を通して、地域農業の持続発展を促進します。また、健康で安心な暮らしを支援するとともに、協同運動を支える人々を育成・支援して、地域の“元気”を創造するJAを目指します。



基本
目標

農業と食を通じた“元気、づくり”

基本方針

3つの元気づくり

未来につなぐ
元気な農業づくり

地域営農
ビジョン

健康で安心できる
元気な暮らしづくり

協同を創造する
元気な人づくり

経営方針

地域農業振興支援が
持続可能な健全経営に
取り組みます

Sustainable Management

チャレンジを奨励して
組織風土の変革を
進めます

Changing the culture

“3つの元気づくり”で
JAへの理解と支持を
促進します

Promote understanding



わい！わい！ポイント制度

Wai! Wai! Point system



わい！わい！ポイント制度は、当JAの事業利用に応じてポイントが貯まる制度です。貯まったポイントは、グリーンセンターやAコープ、産直ひろばなどで1ポイント1円の値引として使えます。ポイントを活用して地元農畜産物を購入することは「地域農業の応援」につながります。

店舗事業

(Aコープ・産直ひろば・グリーンセンター)

各店舗でお買い物をされるとその場でポイントが付きます。



100円 → 1P

地元の農家の方が出荷している
野菜・果物などは、
100円につき1ポイント



200円 → 1P

それ以外の商品は、
200円につき1ポイント

その他の事業もご利用状況に応じてポイントが付きます。

わい！わい！ポイントの
詳細はこちらから



ガソリンスタンド

ガソリンスタンドでは、ガソリン（ハイオク・レギュラー）や軽油・灯油、タイヤ交換・オイル交換・洗車等を利用する毎にポイントが付きます。

ガソリン・軽油・灯油



2Lにつき → 1P

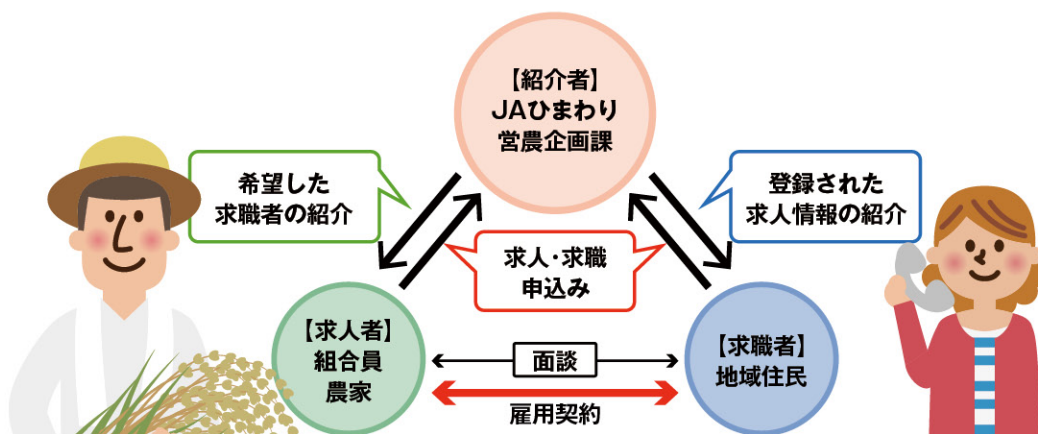


農業に携わる人々を増やしたい

I want to increase the number of people involved in agriculture

無料職業紹介事業

当JAでは、管内の農家の労働力不足を補うため、職業安定法に基づく無料職業紹介事業を行っています。農作業で労働力を必要としている農家と、農業分野で働きたい人の橋渡しをします。



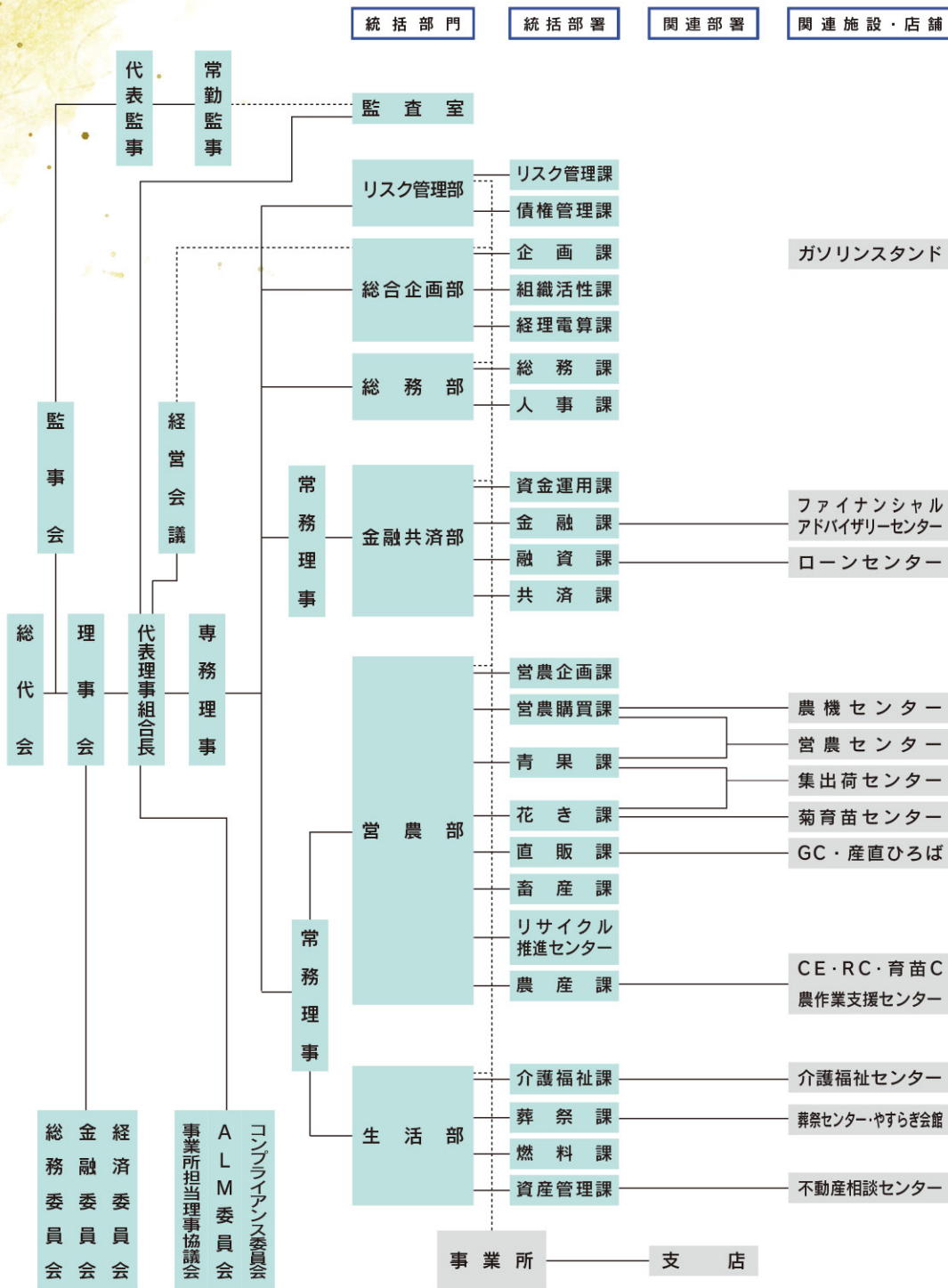
無料職業
紹介事業の詳細は
こちら



※雇用契約に要する費用は無料です。契約後は雇用契約に基づき、求人者から求職者に労働賃金が支払われます。

組織機構図

令和6年4月1日現在



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

JAひまわりは地域社会の一員として、SDGs(持続可能な開発目標)達成に向けて取り組んでいます。



J A ひまわりのあゆみ

昭和61年 3月 新農協合併構想（県下22組合構想）の答申
昭和63年 1月 宝飯豊川地区農協合併研究会設置
11月 宝飯豊川地区農協合併推進協議会設置
平成元年 4月～5月 関係組合財務確認監査（農協監事、県、中央会）
6月 グリーンセンター一宮オープン
7月～8月 合併組合員座談会実施 81会場
10月 合併総会を開催
11月 ひまわり農協設立委員会設置
平成2年 1月 新組合のシンボルマーク100案について選定の人気投票実施
（投票点数4,793点）
3月 シンボルマーク発表会
4月 新生『ひまわり農業協同組合』発足
5月 第42回（新組合第1回）通常総代会
8月 なつまつり（以降毎年開催）
9月 牛久保支店竣工・ギャラリーひまわり開設
11月 東部農業まつり
平成3年 3月 ひまわり女性部総会・大会（以降毎年開催）
5月 グリーンセンター音羽オープン
8月 北海道「北竜町農協」との姉妹農協提携調印式
10月 年金友の会ゲートボール大会
平成4年 3月 中部農機センター竣工
4月 国際園芸博覧会（フロリアード'92）において菊部門で金賞を受賞
4月 国府支店オープン
4月 グリーンセンター音羽 精肉・魚介類コーナーオープン
9月 ひまわり青年部統一総会
平成5年 1月 年金友の会ボウリング大会（以降毎年開催）
3月 年金友の会グラウンドゴルフ大会（以降毎年開催）
4月 水稻育苗施設竣工
4月 Aコープ一宮店・一宮100円市オープン
8月 第1回米を考えるフォーラム開催
平成6年 3月 西部営農センター竣工
12月 ひまわり農業協同組合合併5周年記念大会
12月 西部農機センター竣工
平成7年 2月 第1回ひまわりニューファーマーズ激励歓迎会
4月 ひまわりたすけあいの会発足（ひまわり女性部）
12月 西部営農センター資材倉庫竣工
平成8年 1月 西部農業まつり
3月 全国農業協同組合中央会優良農協表彰受賞
4月 グリーンセンター豊川オープン
4月 インターネットホームページ開設
平成9年 11月 第15回全国スプレー菊研究大会をホスト農協として開催
平成10年 2月 ひまわり女性部 朝日農業賞受賞
3月 いちじく部会 第27回日本農業賞「集団組織の部」大賞受賞
3月 朝日農業賞・日本農業賞大賞受賞記念式典
5月 J A ひまわり杯レディースゴルフ大会
12月 年金友の会シニアゴルフ大会
平成11年 2月 ひまわり農業塾開塾式
3月 花き集出荷センター竣工
4月 稲荷北デイサービスセンター運営開始
5月 小坂井支店・Aコープ小坂井店オープン
11月 とまと集出荷センター竣工
11月 J A ひまわり設立10周年記念大会
平成12年 1月 介護福祉センターオープン
7月 北海道「J A きたそらち」との姉妹農協提携盟約
平成13年 1月 J A ひまわり杯少年野球大会（以降毎年開催）
3月 第109回愛知県農業祭献穀事業
5月 睦美支店オープン
6月 肉豚一貫経営部会 肉豚出荷25周年記念大会
平成14年 5月 やすらぎ会館三蔵子オープン
6月 年金友の会1万人達成記念大会
10月 J A ひまわり杯少年サッカー大会（以降毎年開催）
平成15年 8月 豊川支店オープン
11月 グリーンセンター音羽内に餅加工品直売所「べったん工房」オープン
平成16年 1月 「食の安全・安心」フォーラム開催
7月 「産直ひろば一宮」（Aコープ一宮店内）オープン

平成17年 2月 J A ひまわり設立15周年記念大会
9月 やすらぎ会館御津オープン
10月 「産直ひろば中部」（Aコープ中部店内）オープン
11月 「産直ひろば小坂井」（Aコープ小坂井店内）オープン
11月 八幡支店オープン
平成18年 3月 やすらぎ会館小坂井オープン
11月 三蔵子支店オープン
平成19年 3月 バラ部会 第36回日本農業賞「集団組織の部」大賞受賞
5月 小坂井セルフG S リニューアル
6月 音羽支店オープン
10月 赤塚セルフG S オープン
11月 バラ部会 第46回日本農林水産祭・園芸部門 内閣総理大臣賞受賞
平成20年 4月 ひまわり農協・宝飯豊川畜産農協合併
6月 御津支店オープン
7月 グリーンセンター音羽リニューアル
10月 睦美セルフG S リニューアル
平成21年 3月 東上セルフG S リニューアル
3月 つまもの部会創立30周年記念大会
9月 豊川市耕作放棄地対策協議会
担い手育成総合支援協議会設立総会
11月 やすらぎ会館ごゆオープン
11月 産直ひろば御津オープン
11月 一宮セルフG S リニューアル
平成22年 2月 J A ひまわり設立20周年記念大会
4月 わい！わい！ポイント制度スタート
4月 赤塚セルフG S リニューアル
9月 J A ひまわりオリジナル米「稲荷の里」発売開始
9月 一宮ライスセンター竣工
10月 本店オープン
平成23年 3月 西部セルフG S オープン
4月 東上支店オープン
7月 グリーンセンター一宮リニューアル
平成24年 10月 ひまわり水守森林（みまもり）活動（以降毎年開催）
12月 グリーンセンター豊川オープン
平成25年 2月 組合員3万人達成記念組合員大会
4月 Aコープ中部店リニューアル
8月 生活センターオープン
11月 第8回B-1グランプリin豊川 協賛
平成26年 3月 第122回愛知県農業祭献穀事業
11月 広石支店オープン
平成27年 1月 農産物品評会
3月 J A ひまわり設立25周年記念大会
9月 TPPを考える学習会（コープあいち共催）
平成28年 11月 Aコープ小坂井店リニューアル
平成29年 6月 ローンセンターオープン
6月 牛久保支店オープン
6月 「とよかわバラの日」制定
平成30年 2月 豊川市・ひまわり農業協同組合地方創生に関する包括連携協定締結
6月 第3次長期基本構想・地域営農ビジョン策定
平成31年 3月 グリーンセンター音羽リニューアル
令和元年 11月 J A ひまわり設立30周年記念式典
令和2年 3月 グリーンセンター一宮リニューアル
令和3年 3月 グリーンセンター豊川リニューアル
令和4年 2月 グリーンセンター全店セミセルフフレジ導入
令和6年 2月 こうごゆ支店オープン
4月 ファイナンシャルアドバイザーセンターオープン



お問合せ先一覧

総合受付

本 店 85-3171

本・支店

本 店（金 融 課）	85-3173
口 ー ン セ ン タ ー	56-7770
三 蔵 子 支 店	84-2255
牛 久 保 支 店	85-6822
睦 美 支 店	85-1886
豊 川 支 店	86-8145
八 幡 支 店	87-3211
こ う ご ゆ 支 店	87-2195
一 宮 支 店	93-3535
音 羽 支 店	87-2191
御 津 支 店	76-2131
小 坂 井 支 店	78-3141

営 農

総 合 集 出 荷 セ ン タ ー	85-1234
花 き 課	82-1187
中部営農センター	
生 産 資 材	85-1885
農 機 セ ン タ ー	85-2555
東部営農センター	
生 産 資 材	93-2074
畜 産 課	93-5118
西部営農センター	
生 産 資 材	76-2220
農 機 セ ン タ ー	76-2200
とまと集出荷センター	83-8100
農 作 業 支 援 セ ン タ ー	84-7766
農産課(カントリーエレベーター)	87-2131
一 宮 ラ イ ス セ ン タ ー	93-7950
音 羽 ラ イ ス セ ン タ ー	87-2167
御 津 ラ イ ス セ ン タ ー	75-5511
グ リ ー ン セ ン タ ー 豊 川	85-8318
グ リ ー ン セ ン タ ー 一 宮	93-6111
グ リ ー ン セ ン タ ー 音 羽	88-6600

生 活

生 活 セ ン タ ー	85-5121
介 護 福 祉 セ ン タ ー	83-8580
葬 祭 セ ン タ ー	85-0900
やすらぎ会館 三 蔵 子	85-0900
やすらぎ会館 御 津	77-1800
やすらぎ会館 小 坂 井	73-2080
燃 料 課	89-5558
不 動 産 相 談 セ ン タ ー	89-6211
産 直 ひ ろ ば 御 津	76-2135
Aコープ小坂井店・産直ひろば小坂井	78-3381
睦美セルフガソリンスタンド	84-3524
赤塚セルフガソリンスタンド	83-8607
一宮セルフガソリンスタンド	93-2064
東上セルフガソリンスタンド	93-5410
西部セルフガソリンスタンド	75-3711
小坂井セルフガソリンスタンド	78-2711

※市外局番（0533）



編集・発行

ひまわり農業協同組合 愛知県豊川市諏訪1丁目1番地 (0533) 85-3171 (代表)

作成 令和6年8月